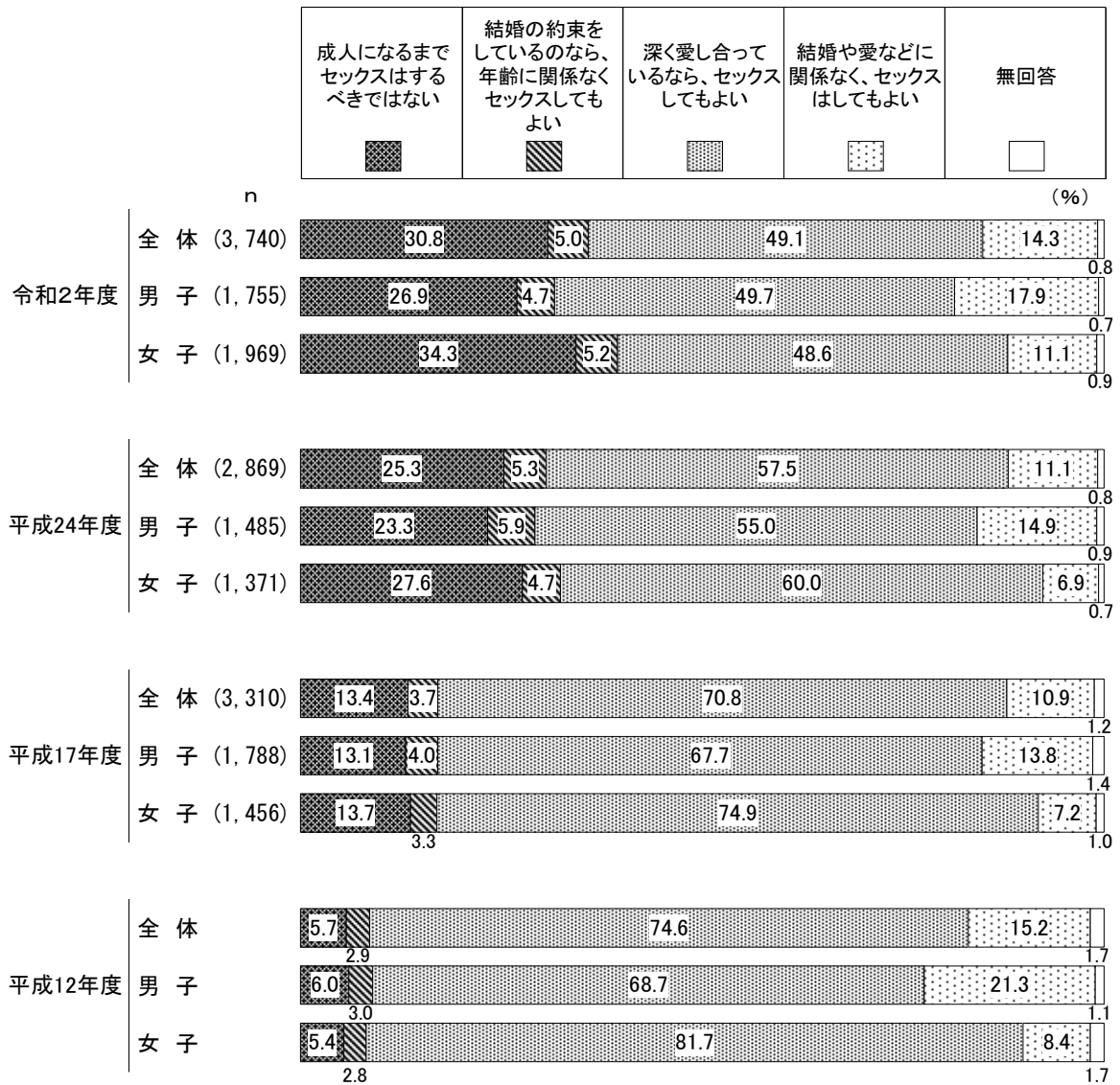


6. 性

(1) セックスに対する考え方

問31 高校生がセックスすることについてどう思いますか。次のうちからあなたの考えに一番近い番号を選択してください。

図表6-1-1 セックスに対する考え方（経年比較）



※「成人になるまでセックスはするべきではない」は、平成17年度では「するべきでない」としていた
 ※「結婚の約束をしているのなら、年齢に関係なくセックスしてもよい」は、平成17年度では「年齢に関係なくしてもよい」としていた

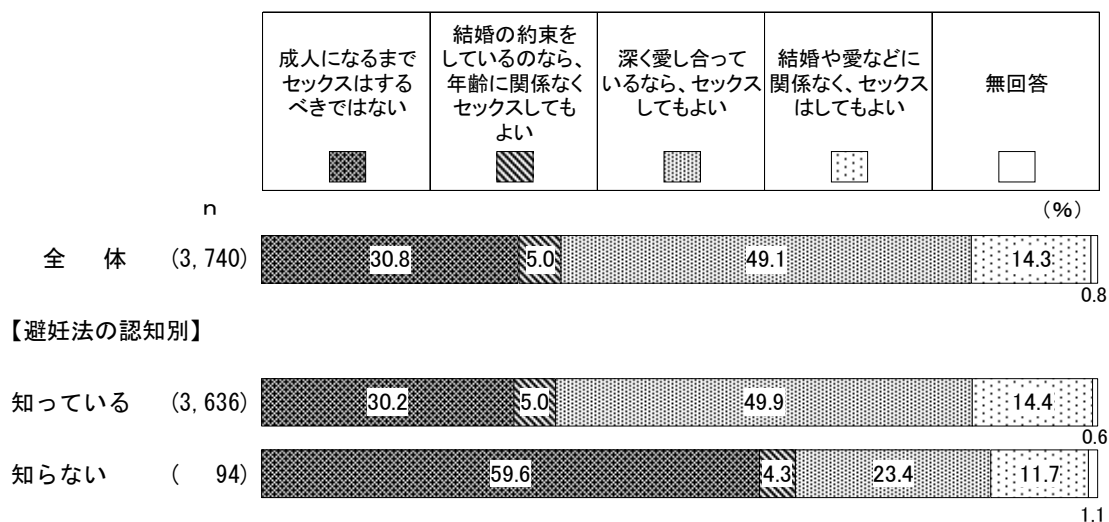
高校生がセックスすることについて聞いたところ、「深く愛し合っているなら、セックスしてもよい」が49.1%で最も高く、次いで「成人になるまでセックスはするべきではない」（30.8%）、「結婚や愛などに関係なく、セックスはしてもよい」（14.3%）となっている。

男女別でみると、「成人になるまでセックスはするべきではない」は女子(34.3%)が男子(26.9%)より7.4ポイント高くなっている。一方、「結婚や愛などに関係なく、セックスはしてもよい」は男子(17.9%)が女子(11.1%)より6.8ポイント高くなっている。

過去の調査と比較すると、全体では「成人になるまでセックスはするべきではない」は平成24年度より5.5ポイント増加しており、平成12年度以降増加傾向にある。一方、「深く愛し合っているなら、セックスしてもよい」は平成24年度より8.4ポイント減少しており、平成12年度以降減少傾向にある。

男女別では「成人になるまでセックスはするべきではない」は平成24年度より男子で3.6ポイント、女子で6.7ポイント、それぞれ増加している。一方、「深く愛し合っているなら、セックスしてもよい」は平成24年度より男子で5.3ポイント、女子で11.4ポイント、それぞれ減少している。

図表6-1-2 セックスに対する考え方（避妊法の認知別）

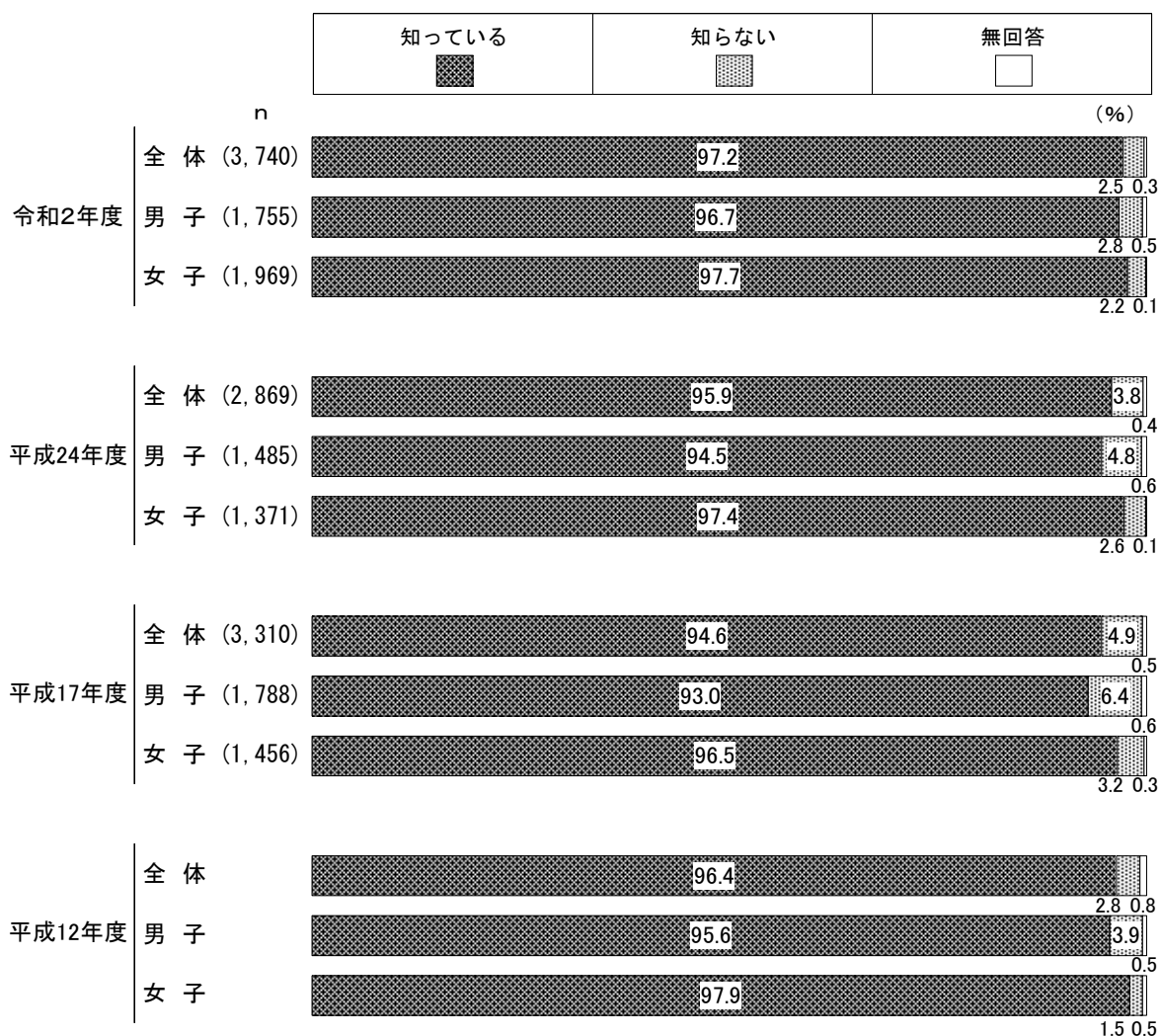


避妊法の認知別でみると、「成人になるまでセックスはするべきではない」は“知らない人”（59.6%）が“知っている人”（30.2%）より 29.4ポイント高くなっている。一方、「深く愛し合っているなら、セックスしてもよい」は“知っている人”（49.9%）が“知らない人”（23.4%）より 26.5ポイント高くなっている。

(2) 避妊法の認知

問32 避妊方法を知っていますか。

図表6-2-1 避妊法の認知（経年比較）



避妊方法を知っているか聞いたところ、「知っている」が97.2%、「知らない」は2.5%となっている。

男女別でみると、男女間で大きな違いはみられない。

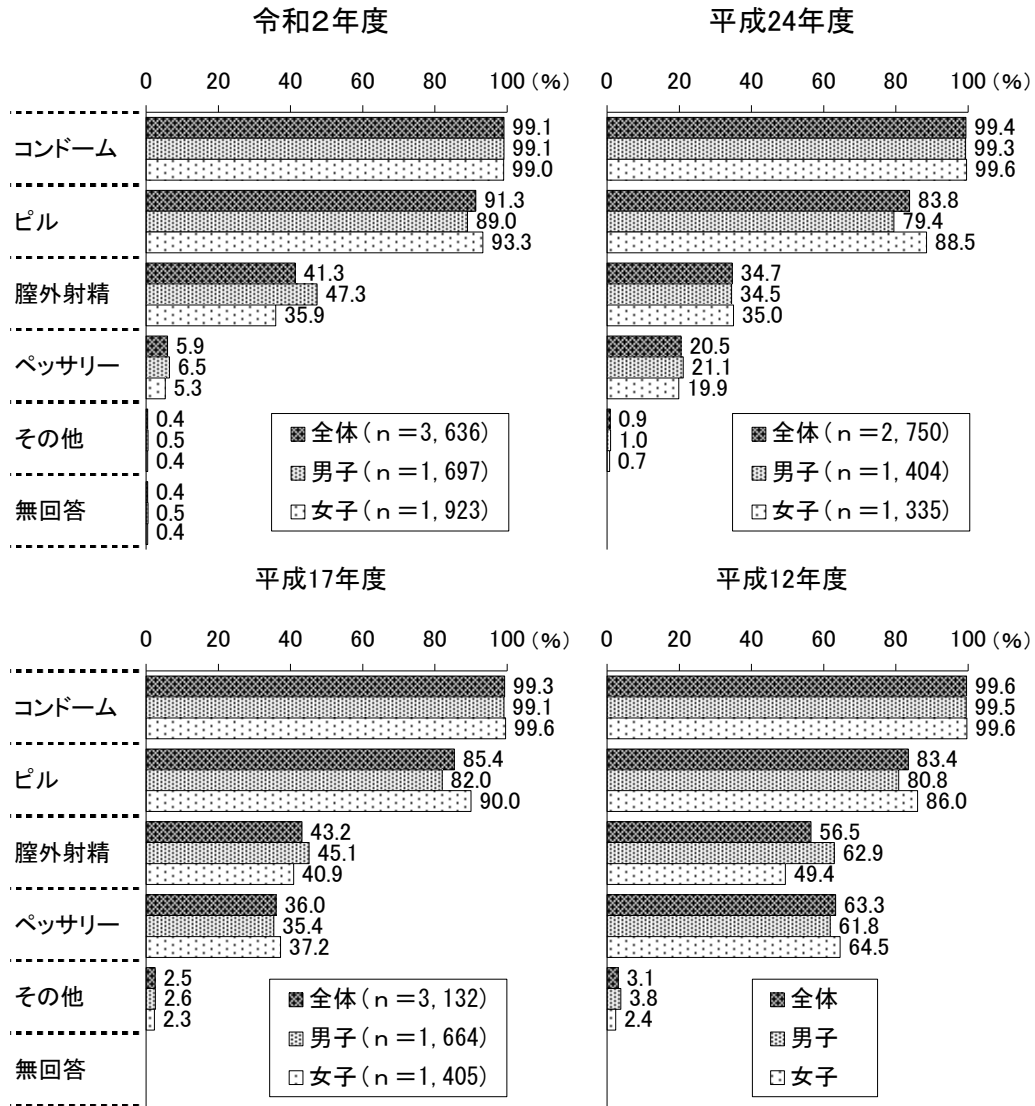
過去の調査と比較すると、全体、男女別ともに平成24年度と比べて大きな傾向の変化はみられない。

(3) 避妊法の知識

問32で「知っている」と答えた方へ

問32-1 どんな避妊方法を知っていますか。知っているものすべてに○をつけてください。

図表6-3-1 避妊法の知識（経年比較）[複数回答]



避妊方法を「知っている」と答えた人（3,636人）に、どんな避妊方法を知っているか聞いたところ、「コンドーム」が99.1%で最も高く、次いで「ピル」（91.3%）、「膣外射精」（41.3%）、「ペッサリー」（5.9%）となっている。

男女別でみると、「膣外射精」は男子（47.3%）が女子（35.9%）より11.4ポイント高くなっている。一方、「ピル」は女子（93.3%）が男子（89.0%）より4.3ポイント高くなっている。

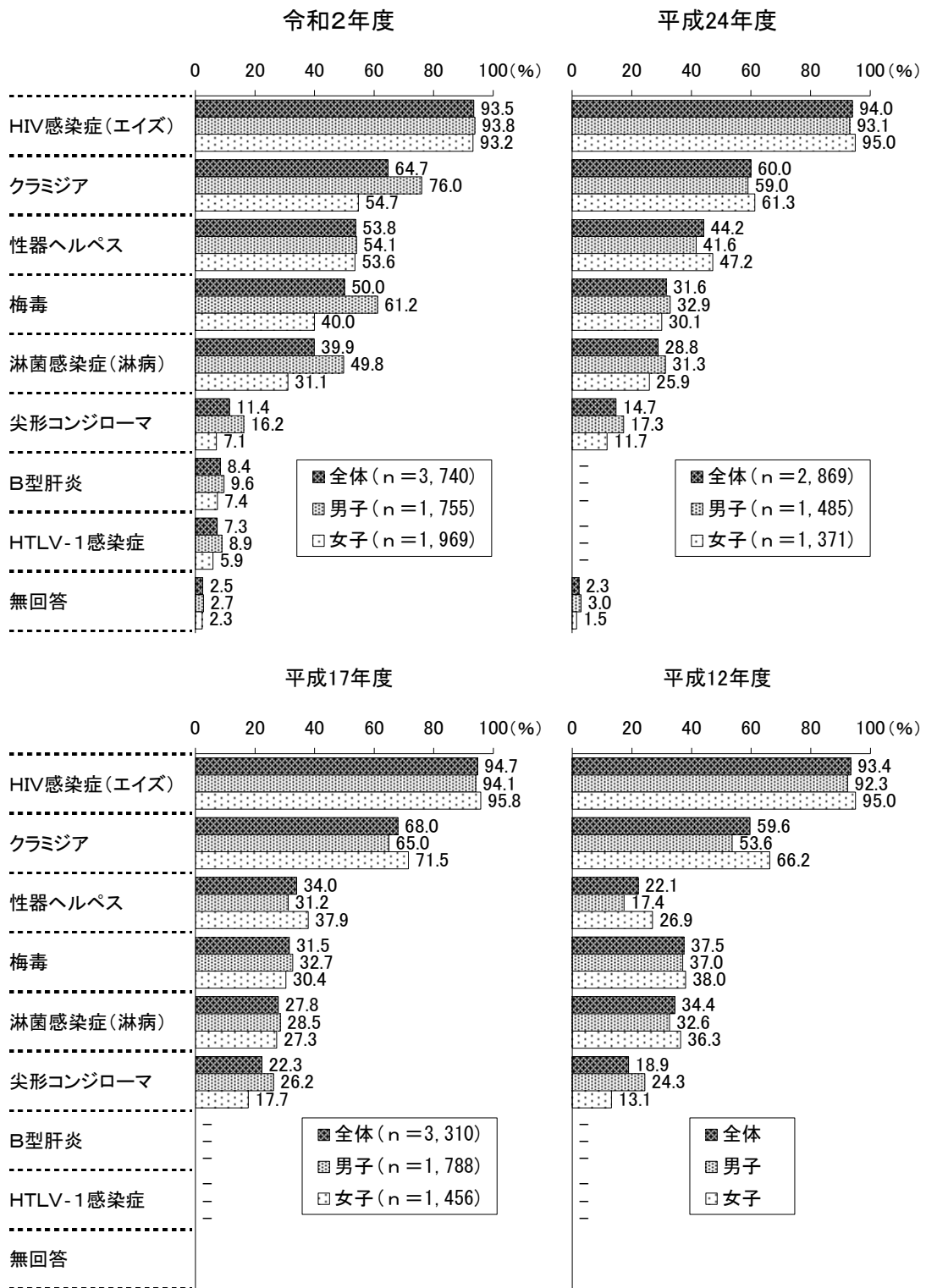
過去の調査と比較すると、全体では「ピル」は平成24年度より7.5ポイント、「膣外射精」は平成24年度より6.6ポイント、それぞれ増加している。一方、「ペッサリー」は平成24年度より14.6ポイント減少している。

男女別では「膣外射精」は平成24年度より男子で12.8ポイント増加している。「ピル」は平成24年度より男子で9.6ポイント、女子で4.8ポイント、それぞれ増加している。一方、「ペッサリー」は平成24年度より男子で14.6ポイント、女子で14.6ポイント、それぞれ減少している。

(4) 性感染症に対する知識

問33 性感染症で知っているのはどれですか。知っているものすべてに○をつけてください。

図表6-4-1 性感染症に対する知識（経年比較）〔複数回答〕



※「HIV感染症(エイズ)」は、平成24年までは「エイズ」としていた
 ※「淋菌感染症(淋病)」は、平成24年までは「淋病」としていた
 ※「B型肝炎」と「HTLV-1感染症」は令和2年度から追加された選択肢

性感染症で知っているものを聞いたところ、「H I V感染症（エイズ）」が93.5%で最も高く、次いで「クラミジア」（64.7%）、「性器ヘルペス」（53.8%）、「梅毒」（50.0%）となっている。

男女別でみると、すべての項目で男子が女子より高くなっており、「クラミジア」は男子（76.0%）が女子（54.7%）より21.3ポイント、「梅毒」は男子（61.2%）が女子（40.0%）より21.2ポイント、それぞれ高くなっている。

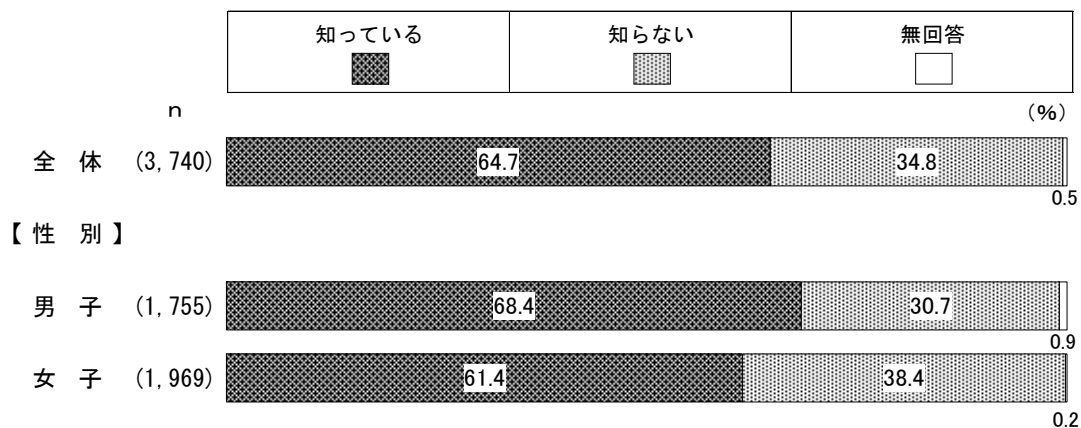
過去の調査と比較すると、全体では「梅毒」は平成24年度より18.4ポイント、「淋菌感染症（淋病）」は平成24年度より11.1ポイント、「性器ヘルペス」は平成24年度より9.6ポイント、それぞれ増加している。一方、「尖形コンジローマ」は平成24年度より3.3ポイント減少している。

男女別では「梅毒」は平成24年度より男子で28.3ポイント、女子で9.9ポイント、それぞれ増加している。「淋菌感染症（淋病）」は平成24年度より男子で18.5ポイント、「性器ヘルペス」は平成24年度より女子で6.4ポイント、それぞれ増加している。一方、「クラミジア」は平成24年度より女子で6.6ポイント、「尖形コンジローマ」は平成24年度より女子で4.6ポイント、それぞれ減少している。

(5) 保健所の性感染症検査実施の認知

問34 保健所で性感染症の検査をしているのを知っていますか。

図表 6-5-1 保健所の性感染症検査実施の認知



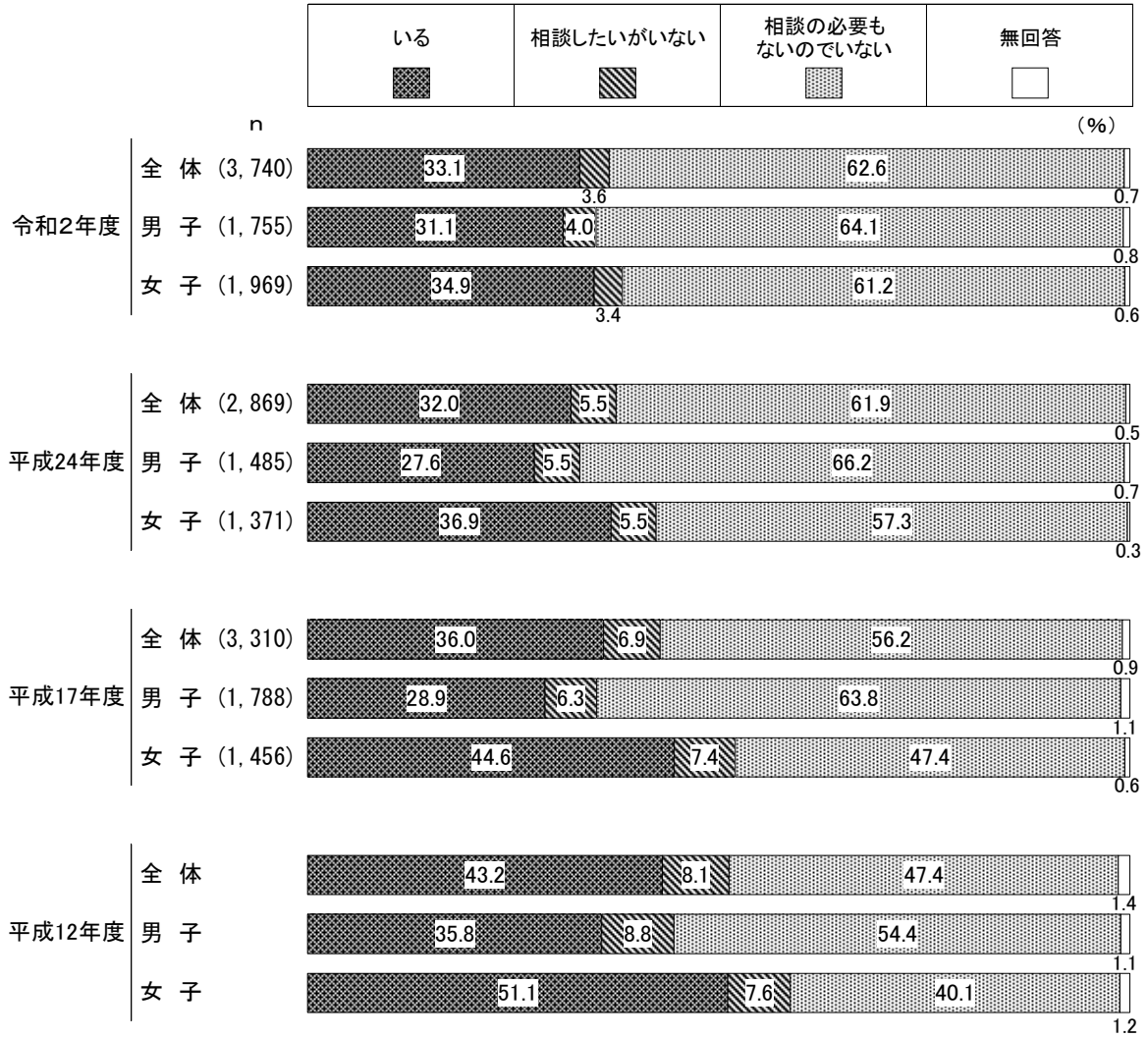
保健所で性感染症の検査をしているのを知っているか聞いたところ、「知っている」が64.7%、「知らない」は34.8%となっている。

男女別でみると、「知っている」は男子（68.4%）が女子（61.4%）より7.0ポイント高くなっている。

(6) 性についての相談者の有無

問35 性に関して相談できる人がいますか。

図表6-6-1 性についての相談者の有無（経年比較）



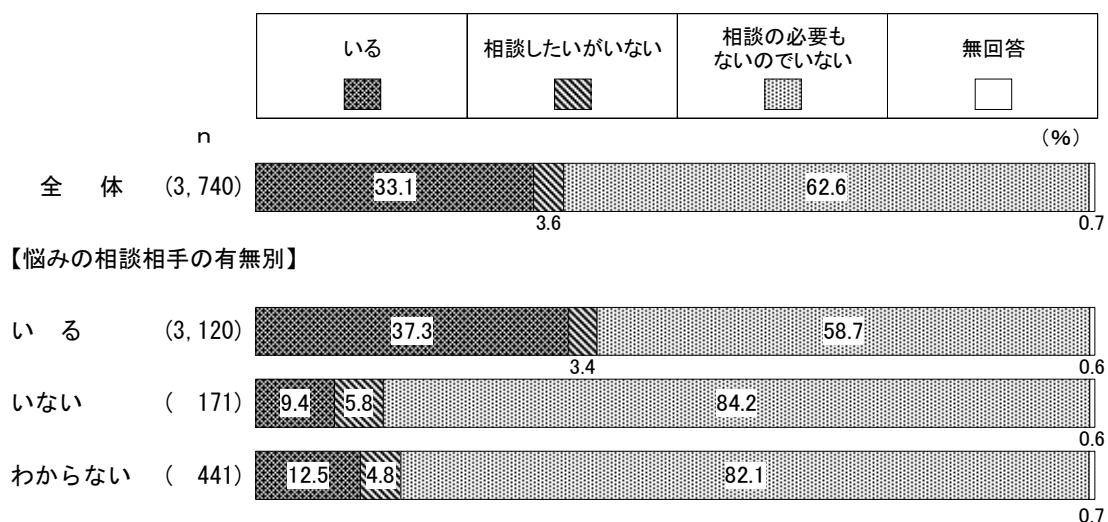
性に関して相談できる人がいるか聞いたところ、「いる」が33.1%となっている。一方、「相談したいがない」は3.6%、「相談の必要もないのでいない」は62.6%となっている。

男女別でみると、「いる」は女子（34.9%）が男子（31.1%）より3.8ポイント高くなっている。

過去の調査と比較すると、全体では「相談の必要もないのでいない」は平成12年度以降増加傾向にある。

男女別では「相談の必要もないのでいない」は平成24年度より女子で3.9ポイント、「いる」は平成24年度より男子で3.5ポイント、それぞれ増加している。

図表6-6-2 性についての相談者の有無（悩みの相談相手の有無別）

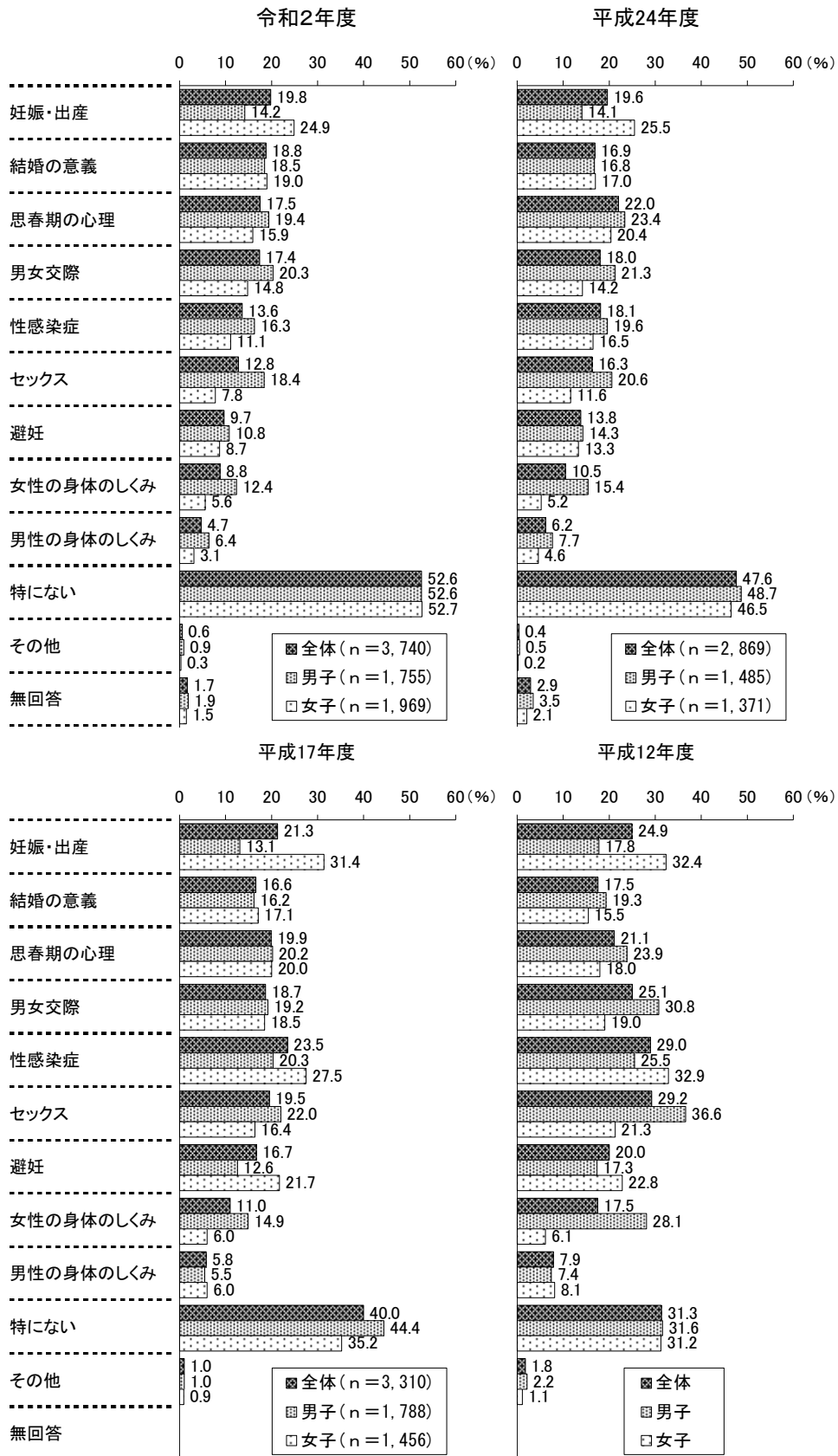


悩みの相談相手の有無別にみると、「いる」は“悩みの相談相手がいる人”（37.3%）が“悩みの相談相手がない人”（9.4%）より27.9ポイント高くなっている。一方、「相談の必要もないのでいない」は“悩みの相談相手がない人”（84.2%）が“悩みの相談相手がいる人”（58.7%）より25.5ポイント高くなっている。

(7) 性に関する関心項目

問36 性に関して知りたいと思うことは何ですか。知りたいものすべてに○をつけてください。

図表6-7-1 性に関する関心項目（経年比較）〔複数回答〕



性に関して知りたいと思うことを聞いたところ、「妊娠・出産」が19.8%で最も高く、次いで「結婚の意義」（18.8%）、「思春期の心理」（17.5%）、「男女交際」（17.4%）となっている。一方、「特にない」は52.6%となっている。

男女別でみると、「妊娠・出産」は女子（24.9%）が男子（14.2%）より10.7ポイント高くなっている。一方、「セックス」は男子（18.4%）が女子（7.8%）より10.6ポイント、「女性の身体のしくみ」は男子（12.4%）が女子（5.6%）より6.8ポイント、それぞれ高くなっている。

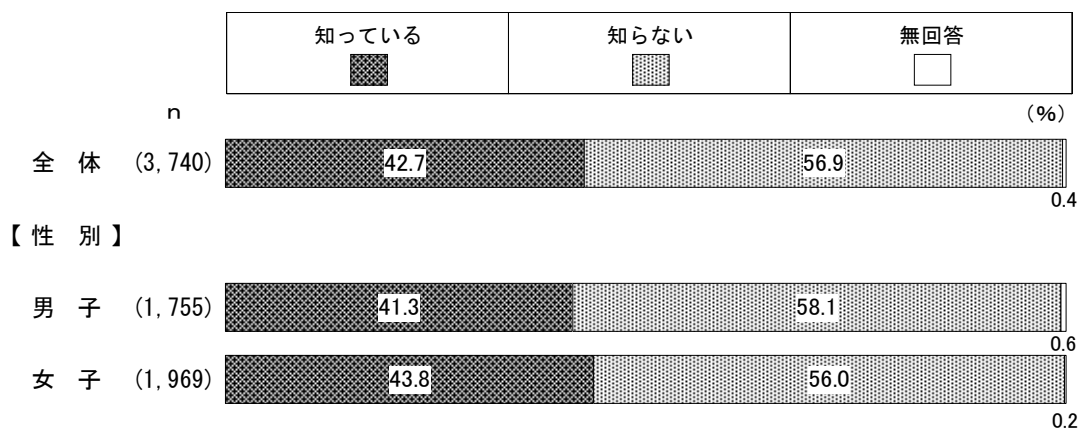
過去の調査と比較すると、全体では「特にない」は平成24年度より5.0ポイント増加しており、平成12年度以降増加傾向にある。一方、「思春期の心理」は平成24年度より4.5ポイント、「性感染症」は平成24年度より4.5ポイント、それぞれ減少している。

男女別では「特にない」は平成24年度より男子で3.9ポイント、女子で6.2ポイント、それぞれ増加している。一方、「思春期の心理」は平成24年度より男子で4.0ポイント、「性感染症」は平成24年度より女子で5.4ポイント、それぞれ減少している。

(8) にんしんSOSちばの認知

問37 妊娠について心配事がある時に相談できる窓口（にんしんSOSちば）があることを知っていますか。

図表6-8-1 にんしんSOSちばの認知



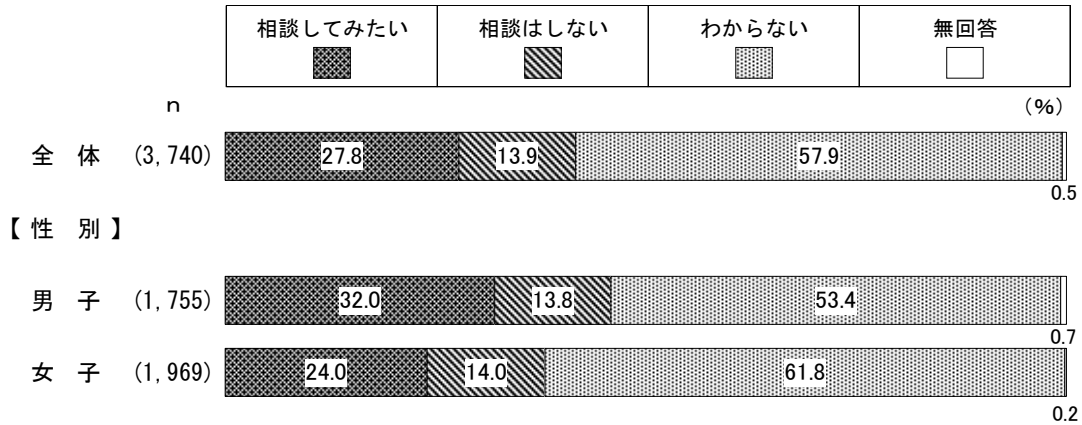
「にんしんSOSちば」があることを知っているか聞いたところ、「知っている」が42.7%、「知らない」は56.9%となっている。

男女別でみると、男女間で大きな違いはみられない。

(9) にんしんSOSちばへの相談希望

問38 自分自身やパートナー、友達の妊娠について相談したい事ができた場合、にんしんSOSちばに相談してみようと思いますか。

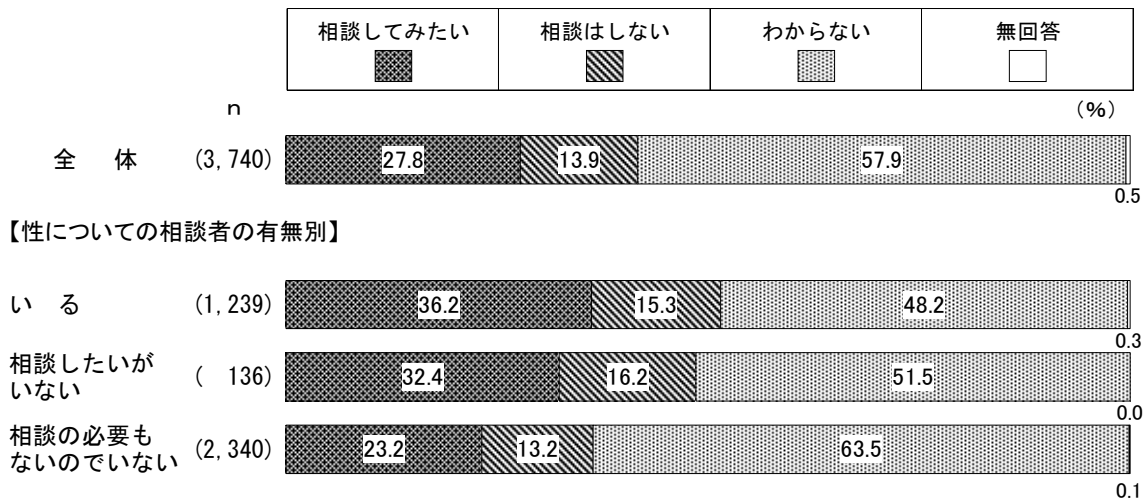
図表6-9-1 にんしんSOSちばへの相談希望



「にんしんSOSちば」に相談しようと思うか聞いたところ、「相談してみたい」が27.8%、「相談はしない」は13.9%となっている。また、「わからない」は57.9%となっている。

男女別でみると、「相談してみたい」は男子（32.0%）が女子（24.0%）より8.0ポイント高くなっている。

図表6-9-2 にんしんSOSちばへの相談希望（性についての相談者の有無別）



性についての相談者の有無別でみると、「相談してみたい」は“性についての相談者がいる人”で36.2%と高くなっている。